



学校だより

平成27年10月15日
四日市市立小山田小学校

10月6日(火)の学校公開日には、多くの保護者、地域の皆さまに子どもたちの学校生活の様子をご参観いただき、ありがとうございます。

さて、五郎丸選手のキック前のポーズが人気ですが、ラグビーワールドカップ日本代表チームの活躍に心を躍らせた人も多いかと思います。

One for All, All for One. ～一人はみんなのために、みんなは一人のために～ これは、ラグビーのチームプレーを表す言葉だそうです。

小山田小学校の子どもたちも、教職員も、保護者や地域関係者の皆さまとがっちりスクラムを組んで、これからもより安心して楽しく学ぶことのできる学校づくりを進めていきたいと思ひます。



がんばった！三泗小学校陸上記録会



～スポーツの秋～ 10月13日(火)に、三泗地区の各小学校の代表選手が中央緑地公園の陸上競技場に集まり、陸上記録会が行われました。

100m走、走り幅跳び、ボール投げ、400mリレー。
6年生代表は、毎朝8時から取り組んできた練習の成果を発揮して、力いっぱい競技しました。
選手以外の6年生もスタンドから応援しました。



火事の怖さがわかったよ！ 4年生 防火教室

10月9日(金)の5時間目に、南消防署の消防士の方をお迎えして、4年生が防火教室を行いました。

視聴覚室でお話を聞いた後、3つのグループに分かれて、相談室で「煙体験」、昇降口外で「水消火器体験」、タイヤ広場で「消防車見学」を順番に行いました。見て、聞いて、体験して、火事の怖さや防火・消火の方法を学ぶことができました。

これから乾燥した日が多くなり、寒さも増してきます。火を使う機会が多くなりますが、火事には十分に注意しましょう。そして、万が一の際には、学んだことを生かし、冷静な行動をとりましょう。



校庭の木をきれいに していただきました



10月10日(土)の午前、シルバー人材センターの皆さんに、運動場や駐車場の木をきれいに剪定していただきました。すっきりしました。ありがとうございます。



おはよう！ またあした！ おやまだっ子通信 やったあ！ だいじょうぶ？



小山田小学校長

学校保健委員会・子どもの未来を語る会



10月6日(火)6時間目、視聴覚室で、学校保健委員会・子どもの未来を語る会を開催しました。6年生児童と多くの保護者の皆さん、教職員が参加しました。

まず、養護の濱田先生が、6年生へのアンケート結果の報告をしました。「学校で一番好きな時間は？」休み時間、授業中、給食の時間…。「家の中で好きな場所は？」リビング、自分の部屋…。「相談できる相手は？」には、親という答えが最も多かったのですが、「誰にも相談しない」という気になる答えもあったことを報告しました。

続いて、みっくみえ代表松岡典子さんの講演(演題『思春期の心と体』)を聞きました。松岡さんは、助産師時代の経験をもとに、子どもたちが自分の心や体とどう向き合うとよいかということについて、わかりやすく話されました。

全ての人間には、プライベートな3つの場所があって尊重しなければならないこと、8～18歳を「思春期」と呼び大人になる準備をしていること、体の変化には個人差があること、ムカつくなど心の変化が起こるのは原因があることなどについて、短い時間でしたが、大人も子どもも興味深く学ぶことができました。

途中、絵本の読み聞かせやジャケットによる妊婦体験なども入れながら、聞き手と対話する形で講演が進み、会場は驚きの声や笑い声が絶えませんでした。

ご家庭でも、ぜひ親子で、心と体を守ることの大切さや性について話し合ってみてください。



松岡典子先生



ごはんの良さって何？～5年生『食育』の授業より～

10月7日(水)の5時間目に、5Aで食育の授業『ごはんの良さを見直そう』がありました。担任の吉村先生と栄養教諭の鈴木先生の二人による指導で、市内の小学校から多くの先生方が参観にみえました。

《考えること》

- ① ごはんの良さは何でしょう？
- ② 自分に合ったごはんの量はどのくらいでしょう？

子どもたちは、ごはんが脳や体のエネルギー源として栄養面で必要なことを学んでいます。

この授業では、先生が用意したワークシート(和食・洋食・中華など様々なおかずのイラストを載せたプリント)を見て、ごはんに合うと思うおかずに○をつけました。

「全部(ごはん)に合うやん！」子どもたちは、友だちの発表を聞きながら、どんなおかずにも合うごはんの良さに改めて気づくことができました。

「給食のごはんの量は、学年によって違うことを知ってた？」

鈴木先生から、給食用のおわんに入れたごはんの実物を見せてもらいました。

学校給食は、年齢によって体格や活動量が異なることを考慮して、必要と考えられる平均的な量を算出して決められていることを学びました(※ただし、食べる量には、個人差があります)。

給食用のおわんに入れたごはんを、家庭で使っているようなお茶わんに移し替えてみました。その量を見て、半数以上の子が「家では、こんなにごはんを食べていない…」と言いました。

おかず中心の人や、パンやおかしでお腹を満たしている人もいます。

ごはんの良さを見直して、自分に合った量をしっかりとるようにしましょう。

そして、しっかり食べられたときは、その分、体もしっかり動かしましょう。

